

(2) 保育所・幼稚園における子どもの読書活動の推進

【第1次計画の成果・課題】

公立保育所では保育所保育指針の保育内容「絵本や物語などに親しみ興味を持って聞き想像する楽しさを味わう」のねらいに基づき、園ごとに保育課程を作成し、年齢や個々の育ちを総合的に捉えて保育を展開しています。

0歳児から就学前までの子ども達が保育士から絵本を読んでもらったり、自ら興味のある絵本を手にして楽しんでいきます。小さな年齢では、簡単な言葉の繰り返しや言葉の模倣を楽しんだり、また成長とともに登場人物に感情移入をしながらイメージを膨らませていきます。アンケート調査によるとほとんどの保育所が絵本貸出しコーナーを設置し、絵本だよりを発行している事がわかりました。

現在、絵本等が高価で保育所の予算では購入が難しい物もありますが、「僕、私たちは絵本が大好き」と言える子が益々増えるよう、今後も教材研究や読書を楽しむ環境づくりなどの工夫をしていきたいと思えます。

また、保護者や地域の方々の読書ボランティアも増加しています。ボランティアの受入れや活動しやすい環境の整備を継続して行うよう努めていきます。(保育課)

幼稚園では、100%の園で教諭による読み聞かせが実施されています。また、保護者やボランティアによるおはなし会も半数以上の園で行われています。

90%以上の園で、図書コーナーを設置しており、子どもが読みたいときにすぐ読むことができるよう、テーブルや椅子を置くなど、環境整備にも力を入れています。その他、読書活動のための資料や教材の活用、絵本貸出しの日の設定、園内研修会の実施をし、各園で読書活動や読書指導の充実を図ろうと努めています。今後も、子どもが読書に親しむことができるよう、研修会で働きかけるなどしていきます。(学校教育課)

【取組】

保育所・幼稚園の取組

保育所・幼稚園では、言葉の獲得について「経験したことや考えたことなど自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指し読書活動を行っています。

保育所・幼稚園では、引き続き以下の取組を推進していきます。

○ 子どもの想像力を育み言葉の感覚を豊かにする保育の充実

子どもの発達段階を考慮して絵本や物語を選本する力を付けるとともに、それぞれの本の良さを理解したり、読み聞かせや語りの練習をしたりするなどして読書活動に関する資質を高めていくことが、保育士や教員にとって大切です。その上で、読書活動に関わる年間計画や目標、具体的な方法等をもって、生活や遊びの中で、子どもの想像力や言葉の感覚を豊かにしていきます。

○ **子どもがたくさんの本と出会う図書コーナーや絵本の部屋づくり**

子どもがたくさんの本の中から、自分に合った本や、おもしろい本、心に響く本などを選び出せるような図書コーナーや絵本の部屋づくりをすすめていきます。そして、保護者や子どものニーズに応えられるよう努めていきます。

○ **保育内容・子どもの遊びや興味関心と関連した読み聞かせ・おはなしの実施**

読み聞かせの本を選ぶときには、保育所・幼稚園の行事をテーマにしたり、毎日の遊びや子どもたちの興味関心を生かしたりして、子どもたちが本の中で想像を膨らませたり、疑問を感じたり、不思議さに感動したりして、絵本やおはなしの世界で十分楽しさを味わうことができるようにしていきます。

【具体的な取組】 (※詳細は「取組一覧表」を参照)

《施策》	《整理番号》	《取組名》	《担当課》	《備考》
【読書機会の提供】				
乳幼児が絵本や物語などに親しむ活動の実施	14	毎日の保育の中での読み聞かせや紙芝居等の実施	保育課 学校教育課	継続・充実
	15	保護者やボランティアによるおはなし会等の実施	保育課 学校教育課	継続・充実
【読書環境の整備・充実】				
図書コーナーの整備・充実	16	利用しやすい絵本コーナーの設置と整備・充実	保育課 学校教育課	継続・充実
職員の研修等の充実	17	職員に対する読書指導等の研修の充実	保育課 学校教育課	継続・充実
【読書活動の普及・啓発】				
保護者・子どもへの図書の紹介	再掲(1)	お薦めの本の紹介	保育課 学校教育課	継続・充実
保護者への啓発	再掲(4)	お便り等を活用した保護者への啓発	保育課 学校教育課	継続・充実
読書週間及び「子ども読書の日」等における啓発・広報	再掲(6)	「子ども読書の日」の啓発・広報の推進	保育課 学校教育課	継続・充実
	再掲(9)	読書週間の絵本の貸出し	保育課	充実